

TOPIC 東京2020パラリンピック競技大会 ～車いすを利用する選手・関係者の移動を支える～

東京2020パラリンピック競技大会に参加した選手・関係者の安心・安全な移動を支えたチーム日野の活動を紹介します。

◆ 日野自動車が行った課題：車いすを利用する選手・関係者の移動サポート

東京2020パラリンピック競技大会に参加した約2千人の車いすを利用する選手・関係者の移動には、全国のバス事業者が所有するリフト付き大型観光バス約260台を東京2020組織委員会が借り入れて活用しましたが、標準的な大型観光バス1台に設けられた車いすスペースは2脚分のため、当初、車いすを利用する選手・関係者の移動を支える車両の不足が懸念されていました。

チーム日野は、2019年に社内検討チームを立ち上げて、この課題に取り組みました。

◆ 課題への対応：簡易固定具製作による車いすスペースの拡充

バス事業者からお借りした車両は大会終了後速やかに復元してお返しするため、大がかりな改修工事をせずにバス車内の車いすスペースを拡充して、同時に乗車できる車いすを利用する選手・関係者の人数を増やす方法を考えました。具体的には、通常のシートを固定していた留め具を活用して、車両に穴をあけることなく簡単に取り外せる車いす固定具を製作し、バス1台につき新たに車いす4脚分のスペース(合計6脚分)を確保できるようにしました。

大会期間中は、上記車いす固定具が60台のバスに装着されて選手・関係者の移動に活躍し、利用した方からは「簡単に素早く確実に車いすを固定することができ、とても役に立った」とのお言葉もいただきました。

また、チーム日野のメンバーは、車いすを利用する選手の乗降時サポートにも従事し、利用者の声を直に聴くという大変貴重な経験をすることもできました。

今回の東京2020パラリンピック競技大会での取り組みは、私たちが目指す、誰もが自由に安全に効率的に移動できる「豊かで住みよい持続可能な社会」の実現につながるものと考えます。この取り組みで得た様々な知見を今後の事業活動に活かしてまいります。



● 大型観光バス外観



● 車内、車いす固定具使用時

日野自動車は、東京2020パラリンピックワールドワイドパートナーであるトヨタ自動車のグループ企業です